

## 姉妹都市締結35周年親善訪問団

7月3日（火）、姉妹都市締結35周年親善訪問団（団長中野町長）19人が、米国オレゴン州フッドリバーへ出発し、同月9日（月）、無事訪問を終え元気に帰町しました。

出発の朝に行われた結団式で中野町長は「この訪問を機会にフッドリバーとの交流を一層深めてきたい」とあいさつを述べ、関係者に見送られ元気に青森空港に出発しました。

一行は、現地時間の3日に到着。午後からレイ・ヤスイ氏とエイコ・タダクマ氏の墓参りの後、締結35周年記念式典に主賓として参加。翌4日には、同市の独立記念日のパレードに参加して、男性がねぶたの衣装をまとい、女性が祭の法被ほっぴを着てよさこいの踊りを披露しまし



・鶴田を出発する訪問団の皆さん



・フッドリバー市内をねぶたの衣装でパレードしました



6/21 「鶴田町暴力団排除措置要項施行に係る合意書」の締結

7/14 鶴遊館で第38回米寿祝賀会（本年対象者88人）

6/18 国際交流会館で今年度最初のメディコトリムを開催



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。（☎22-2111 内線263）

## 地元の小麦粉を使ったピザづくり！

6月13日（水）、学舎レストラン「パタータ」で、中央保育所年長の園児18人が、地元の小麦粉（ゆきちから）を使用したピザづくりに挑戦しました。

生地から作るピザづくりは園児全員初めてでしたが、シェフから生地のこね方や伸ばし方を教わり、園児たちは上手に薄く丸い形に生地を作っていました。

最後に自分の好きな具材をトッピングして焼いてもらってできあがり。園児たちは自分で作ったピザを口いっぱいほお張っていました。



・初めての生地に「ねんどよりやわらかい!?」・シェフがこね方をていねいに教えてくれました

## あるじゃで11周年祭が開催される

6月16日（土）・17日（日）の2日間、道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」で、オープン11周年を記念して「11周年祭 全国道の駅・鹿児島さつま町フェア」が開催されました。

フェアには、さつま町をはじめ県内外から20道の駅が参加。2日間で2万人の方が訪れ、各売り場のほか、鶴田産リンゴのプレゼントや朝市、よさこいソーラン、スコップ三味線、獅子舞、三味線コンサート、五ツ太鼓のアトラクションも行われ、随所できわいを見せていました。



・今年も好評のさつま町のブース



①オープニングセレモニーで丹頂鶴の風船が揚げられる②鶴田産リンゴのプレゼント  
③にぎわいを見せる全国の道の駅 ③中央保育所園児たちによるよさこいソーラン

## 夜の町が大にぎわい・酒まつり

6月15日（金）、鶴田町料理飲食業組合（花田正逸組合長）主催「第25回つるたじよっぱりチャリティー酒まつり」が開催され、町内外から約500人の愛飲家たちが酒宴の夜を楽しみました。

午後7時号砲とともにまつりがスタートし、参加者は抽選券のスタンプカードを持って、酒まつりに協賛している指定の5店を飲み回り、抽選会場の豊明館へと向かいました。

抽選会場では、目の前に並んだ豪華賞品とほろ酔い気分が重なり大にぎわいを見せ、たくさんの賞品が参加者の手に渡っていきました。

また、酒まつりでは、参加者からのチャリティー募金もたくさん寄せられ、6月25日（月）、料理飲食業組合の皆さんが役場庁舎に訪れ、町社会福祉協議会へ寄せられた募金全額を寄付しました。



①北谷商工会会長の号砲でまつりがスタート ②店内では仲間同士で「カンパイ！」  
③参加できわいを見せる文化通り ③チャリティー募金を中野町長に手渡す組合の皆さん

## 富士見湖で大実験！

6月24日（日）、津軽富士見湖で青森朝日放送「マサックのスーパー実験室」の番組収録が行われました。

収録では、ミスターマサックこと工藤貴正先生が、舞橋と同じ長さの300mの糸電話と日本記録（500m）を超える650mの糸電話の実験に挑戦しました。

実験が成功したかどうかは、8月18日（土）午後4時から放送予定の同番組をぜひご覧ください。



・写真上/スタッフと実験を意気込むマサック先生・写真下/糸電話の声を受ける大きな空き缶



・声を送るとき、なぜか「どんぐりころころ」を熱唱するマサック先生